

氏 名：

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
1. サービス提供の基本的な考え方として、利用者（本人）主体、自立（自律）支援、エンパワメント、ＩＣＦの障害構造、権利擁護、合理的配慮、専門性、チームアプローチ、連携等について理解し、説明できる。			
2. 各事業者におけるサービスの標準化と個別化について、サービス提供においては、それぞれの事業の対象者像・サービス内容を基盤に、個に応じた支援を行うことと、個に応じた支援の積み上げ・実践が、サービスの標準化のプロセスとなること。また、計画においては時間軸とサービス内容の２つの要素が重要であることを理解し、説明できる。			

氏 名：

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
サービス（支援）提供の流れを理解する ・総合支援法上の支給決定のプロセスにおけるサービス等利用計画と個別支援計画の位置づけ及びPDCAサイクルを理解し説明できる。			
プロセスごとの内容を理解する（１） ・初期面接から個別支援計画作成・実施までの具体的な実施内容及びポイントを理解し説明できる。			
プロセスごとの内容を理解する（２） ・中間評価（モニタリング）と修正（個別支援計画の変更）までの具体的な実施内容及びポイントを理解し説明できる。			
サビ児管の役割と管理的側面について ・サビ児管の４つの役割及び管理的側面（法令遵守事項）等を理解し説明できる。			
サービス（支援）の評価及び事業所の評価について ・サービス評価の３つの例示とその内容及び事業の評価による利用者への質の高いサービス提供の重要性を理解し説明できる。			

氏 名：

の関係	
-----	--

科目名	聴講日
-----	-----

〔事前評価〕①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

獲得目標	自己評価	毎日の振り返り
------	------	---------

獲得目標	受講前	受講後	気づき等
サービス等利用計画と個別支援計画の関連性、その前提としての連携を理解しながら個別支援計画作成ができる。			
サービス等利用計画は「総合的な援助計画であり、将来計画であること」を理解し、本人と一緒に個別支援計画を作成することを意識している			
個別支援計画は、それぞれの事業所の事業（サービス）内容に基づいた計画であり、事業所内で共有することを理解している。			
サービス等利用計画と個別支援計画の調整等に関してサービス担当者会議等を活用することを学ぶ。			
障害福祉計画と（自立支援）協議会など、ミクロ・メゾ・マクロレベルで個別支援計画が繋がっていることを意識できている。			

氏 名：

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
1. 生活介護・療養介護分野における、サービス内容の整理としてサービスマニュアルの必要性について理解し説明できる。			
2. 生活介護・療養介護分野における、アセスメントを高めるためサービス提供の基本姿勢及びサービス提供の視点について、理解し説明できる。			
3. 生活介護・療養介護分野における、利用者に関するアセスメントのポイントについて、リフレーミング・ストレングス・意思決定支援に関し、理解し説明できる。			
4. 生活介護・療養介護分野における、アセスメントツールの必要性を理解し活用できる。			

サービス管理責任者等養成研修 振り返り・評価シート(科目別)

氏 名：

基礎4-2 科目名	知的障害・精神障害分野のアセスメントにおける留意点	聴講日	
--------------	---------------------------	-----	--

本シートは、サービス管理責任者等養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら理解度を可視的に捉えるものです。

〔事前評価〕 ①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価] ①受講後の学習効果を確認する。(身について、自己評価と相違があった等)。

②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

○以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

10 9
←理解度が高い

2 1
理解度が低い→

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
①サービス等利用計画作成の過程を説明できる			
②個別新計画作成過程を説明できる			
③サービス等利用計画と個別支援計画の関係を説明できる。			
④知的障がい者の個別支援計画作成の留意点を説明できる。			
⑤精神障がい者の個別支援計画作成の留意点を説明できる。			

氏 名：

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
1. 身体障害分野におけるサービス管理責任者の役割を理解し、説明できる。			
2. 自立訓練（機能訓練）事業における対象者を念頭に、アセスメント（ニーズの把握）と課題の整理、ストレングスへの気づき、先天性障害者や後天性障害者の心理状態の把握、支援の方向性を共に考えていくことの重要性等について理解し、説明できる。			

氏 名:

基礎 4-4 科目名	利用者主体のアセスメント（就労分野）	聴講日	
---------------	--------------------	-----	--

【事前評価】①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
←理解度が高い 理解度が低い→

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
1. 就労系サービスの役割 ① 各事業の対象者について説明ができる。 ② 各事業のサービス内容について説明ができる。 ③ 各事業における傾向や動向等について説明ができる。			
2. 就労支援のプロセス ① 基本的なスキームについて説明ができる。 ② 関係機関の役割について説明ができる。 ③ 就労支援の課題について説明ができる。			
3. アセスメントの内容と方法 ① 職業的アセスメントの内容について説明ができる。 ② 観察評価の視点について説明ができる。 ③ 職業的アセスメントのポイントについて説明ができる。			
4. ポイント～まとめ～ ① 就労分野における基本的な視点について説明ができる。 ② サービス提供の基本的な視点について説明ができる。 ③ 就労分野におけるサービス管理責任者の役割について説明ができる。 ④ 就労分野におけるサービス管理責任者の視点について説明ができる。 ⑤ アセスメント及びサービス提供の環境について説明ができる。 ⑥ 地域における連携について説明ができる。			

氏 名：

医療型	
-----	--

基礎 4-5 科目名	アセスメントのポイント（福祉型・医療型 発達支援、放課後等デイサービス、福祉型・ 医療型障害児入所支援）	聴講日	
---------------	--	-----	--

〔事前評価〕①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価] ①受講後の学習効果を確認する。(身についた、自己評価と相違があった等)。

[事後評価] ①受講後の学習効果を確認する。(身についた、自己評価と相違があった等)。

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
←理解度が高い 理解度が低い→

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
子どもの気持ちを読み取るアセスメント力についてイメージできる。			
児童期における発達支援のアセスメントのポイントについて説明できる。			
児童期における家族支援のアセスメントのポイントについて説明できる。			
児童期における地域支援について説明できる。			

氏 名：

トにつ	
-----	--

基礎5 科目名	個別支援計画作成の手順とポイントについて	聴講日	
------------	----------------------	-----	--

〔事前評価〕①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価] ①受講後の学習効果を確認する。(身についた、自己評価と相違があった等)。

②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
←理解度が高い 理解度が低い→

獲得目標	自己評価		気付き等
	受講前	受講後	
サービス等利用計画から個別支援計画作成までのサービス提供におけるプロセスを理解し、実践できる			
サービス等利用計画を反映した個別支援計画を作成することの必要性を理解し、作成できる			
個別支援計画を作成するにあたり、事業所を利用する際の支援内容の他に、利用者の希望や要望も取り入れた内容となっている			
個別支援計画の実施にあたり、支援スタッフと情報を共有し、一体的に支援をすることの必要性を理解し、実践できる			
モニタリング時に確認された日常生活上のニーズや希望等の変化に対して、個別支援計画の修正を行い、相談支援専門員に報告することの必要性を理解し、実践できる			